

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
1					全体にわたって年号（西暦、和暦）を揃える必要があると思われる。国際関係に関する内容を扱っていることを考えると、西暦に統一する方がよいように思う。	君島委員	最終チェックを行う予定		
2					一般的に使用が希少な外国語については日本語に置き換えるか記載用語の後に（ ）して日本語を挿入するか工夫が必要だと思います。 例。バイラテラル、マルチラテラル、インフルエンサーその他。	高山委員	脚注を記載 バイラテラル、マルチラテラルは右のページ インフルエンサーはP-53 注61	15	注26
3	6	10~11	自然等が失われた。	自然等が失われた。1995年、戦後50周年に建設された「平和の礎」には県民の平和を愛する信念に基づき敵味方の区別なく沖縄戦での全戦没者の氏名が刻銘されている	6頁の11行目の「自然が失われた」の後に「1995年、戦後50周年に建設された「平和の礎」には県民の平和を愛する信念に基づき敵味方の区別なく沖縄戦での全戦没者の氏名が刻銘されている」を挿入してはいかがですか。	高山委員	修正済み	7	6
4	6	19-20	1972_年5月15_日	1972年5月15日	半角スペース2箇所削除	小松委員	修正済み	7	17-18
5	6	27	SDGs_	SDGs	半角スペース削除	小松委員	修正済み	7	25
6	7	9	550頭の豚輸送	ハワイ県系人による550頭の豚輸送	7頁の9行目の「550頭の豚輸送」の前に「ハワイ県系人による」を挿入してはいかがでしょうか。	高山委員	修正済み	8	6
7	7	9	550_頭	550頭	半角スペース削除	小松委員	修正済み	8	6
8	7- -8	37- -2	このような日本政府及び沖縄県の取組により、成長著しいアジアに隣接する沖縄県の経済は、景況や成長率等において全国を上回るまでに至り、アジアのダイナミズムを取り込んだ経済発展のメカニズムが始動する兆しが見られるなど、沖縄の地域外交における経済分野の高い可能性がアジアの国・地域等との連携に繋がる展望が示唆された。	このような日本政府及び沖縄県の取組により、成長著しいアジアに隣接する沖縄県の経済は、景況や成長率等において全国を上回るまでに至り、アジアのダイナミズムを取り込んだ経済発展のメカニズムが始動する兆しが見られた。また、沖縄の地域外交においても、とりわけ経済分野でのアジアの国・地域等との連携に繋がる可能性が示唆された。	本段落はやや文意が不明瞭でしたので、一例として修正してみました。	小松委員	修正済み	8	35-39
9	8	3~4	しかしながら、2020年（令和2年）の新型コロナウイルス感染症の拡大が沖縄県をはじめ我が国及び世界全体に甚大な影響を与え、加えて気候変動によるリスクや新興国の台頭に伴う国際秩序の変化など本県を取り巻く環境は混沌とした状況にある。	しかしながら、2020年（令和2年）の新型コロナウイルス感染症の拡大が沖縄県をはじめ我が国及び世界全体に甚大な影響を与えた。加えて気候変動によるリスクや新興国の台頭に伴う国際秩序の変化など、本県を取り巻く環境は依然として混沌とした状況にある。	2つの文章に分けた方が読みやすいかと思いました	小松委員	修正済み	9	1-4
10	8	4	沖縄県をはじめ我が国	沖縄県を含め我が国	表現の修正	官澤委員	修正済み	9	1-2
11	8	12	本土復帰以降	本土復帰後も		君島委員	修正済み	9	9-10
12	8	12	代理戦争	戦争		君島委員	修正済み	9	10
13	8	12	米中対立の中で、沖縄県が代理戦争の舞台になるリスクもある。	米中対立が激化し、戦争状態に突入すると沖縄が戦場となることも予想される。	8頁の12行目の「米中対立・・・リスクもある」を「米中対立が激化し、戦争状態に突入すると沖縄が戦場となることも予想される。」としたらいかがでしょうか。	高山委員	修正済み	9	10-11
14	8	14	「ゆいまーる」や「ゆんたく」	「ユイマール」や「ユンタク」	表現の修正	官澤委員	修正済み	9	12
15	9	3~4	翻弄される経験をしてきた。	翻弄されてきた。	9頁4行目の「翻弄される経験をしてきた。」を「翻弄されてきた」としてはいかがですか。	高山委員	修正済み	10	3-4

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

たたき台案			集約版				提言(案)		
整理番号	頁番号	行番号	たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	頁番号	行番号
16	9	20	もう1つは、東アジア各地との交易・交流ネットワーク		ここは東アジアだけでよいでしょうか？（東南アジアもはいらない？）	倉科委員	【事務局案】 もう1つは、東アジアや東南アジア各地との交易・交流ネットワーク	10	19
17	9	21	生かしていく	活かしていく	誤字	官澤委員	修正済み	10	20
18	9	28	方向性である。は、これは	方向性である。これは		小松委員	削除修正済み	10	27
19	9	28	方向性である。は、これは近年		ここはおかしくないでしょうか？	倉科委員	削除修正済み	10	27
20	10	24	沖縄県の様々なアクターが東アジア諸地域との	沖縄県の様々なアクターがアジア太平洋地域との	表現の修正	官澤委員	修正済み	11	23
21	11	1~2	第二章 地域外交の意義・意義 (3) 地域外交の定義(理論的枠組み)	第二章 地域外交の定義・意義 (3) 地域外交の理論的検証と沖縄型地域外交の位置づけ	章の内容により沿った見出しとしてみました。	小松委員	修正済み	12	2
22	11	16	マルチトラック外交	マルチトラック外交に注18を付する。注18として、Louise Diamond and John W. McDonald, Multi-Track Diplomacy: A Systems Approach to Peace, Kumarian Press, 1996.		君島委員	修正済み	12	注22
23	11	18	外交典礼	外交儀礼	表現の修正	官澤委員	修正済み	12	18
24	11-13	27-34			こちらの整理ですが、参考とはいえ、県の報告書となりますと県の解釈と受け取られかねない可能性もあり、また報告書の主旨を考えると(論文ではないので)かならず必要というわけではなく、可能であれば削除したほうがよいと思いました。 たとえばウィーン条約の解釈ですが、そもそも外交使節団は国を代表するものであることが前提で、だれもがこの条約でいうところの使節団になれるものではないと読むべきではないかと思っています。(あくまでこの条約上の使節団です。) 外務省の所掌の解釈についても、県の報告書で解釈をのせるのは、そもそも報告書の主旨に必要なと思いました。	久保田委員	ご指摘を踏まえ、ウィーン条約に関する記述について、国家以外の主体が直接担うものではない主旨で修正し、現時点では記述を残しています。 記述自体を削除することについては、第4回会議においてご議論いただきたいと考えます。	13-14	3-44
25	15	1	15カ所の拠点を設置	14カ所の拠点を設置		倉科委員	修正済み	16	14
26	15	2-3	国際協力推進員を配置し、JICA事業に対する支援	国際協力推進員を配置し、地域が行う国際協力への支援	推進員が行っているのはJICAへの支援ではありません。	倉科委員	修正済み	16	15-16
27	15	20	国家間外交の効果が地域住民のウェルフェアを損ねる場合には、沖縄県が行う地域外交は、地方自治体の自立性として地域が主体的に国際交流・国際協力等を進めるなかで、そのこぼれ落ちた部分を担う必要性が出てくる。	国家間外交の効果が地域住民のウェルフェアを損ねる場合、あるいは、国家間外交では限界がある場合には、沖縄県を含め、地方自治体が、自立的、主体的に外交的役割の一部を担う必要性が出てくる。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	16-17	29-3
28	15	34	アジア	東アジア		君島委員	修正済み	17	15-16
29	16	11-15	これら県内の取組を支える重要な機関を見ていくと、JICA沖縄センターは、全国で唯一の単独県に設置されたJICA国内施設であり、かつ沖縄振興特別措置法において、同センターは通常の海外協力事業に加え、沖縄振興に資する取組を実施する機関として位置づけられており、これを踏まえ同センターでは県内の関係者と連携した活動を積極的に行っている。	これら県内の取組を支える重要な機関を見ていくと、JICAは、全国47都道府県に14の国内機関を設置し地域と連携した開発途上国への協力をを行っているが、沖縄県に設置されているJICA沖縄は沖縄県のみを対象とした機関である。またJICAは、沖縄振興特別措置法において、開発途上国への国際協力事業を通じ沖縄振興に寄与することが定められており、これを踏まえJICA沖縄では県内の関係者と連携した活動を積極的に行っている。	北海道も1県1センターであること、沖縄振興特別措置法ではJICAは、とされていることから(実際にそれを実施するのはJICA沖縄ですが)、書き方を変更させていただきました。	倉科委員	修正済み	17-18	36-1
30	17	16	GDP_	GDP	半角スペース削除	小松委員	修正済み	19	16

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
31	18	1-2	ユイマールやチムグクルは、 <u>今世界中が目指しているインクルーシブネスに通じるものがある。</u>	ユイマールやチムグクルは、 <u>国際社会が目指す「誰一人取り残さない社会」であるところのインクルーシブネス (inclusiveness, 包摂性) に通じるものがある。</u>		久保田委員	修正済み	20	1-3
32	18	4-7	発信されてきたものであるが、 <u>いまこそ、沖縄の伝統的な精神的価値と普遍的価値を結びつけて発信することは効果的である。また、沖縄の精神文化の象徴である人の温かさは沖縄の財産であり、ファンを増やして好循環を生むなど、外交でも重要なツールとなりうる。</u>	発信されてきたものであるが、 <u>であるからこそ、沖縄の伝統的な精神的価値と国際的に受け入れられている普遍的価値を結びつけて発信することは効果的である。また、沖縄の精神文化の象徴である人の温かさは沖縄の財産であり、人的交流を通じて形成された沖縄ファンが沖縄の魅力を生むなど、外交でも重要なツールとなりうる。</u>	この第二文（「また～」以降の文章？）の場所は、要検討。	久保田委員	修正済み	20	5-9
33	18	13	<u>一方で国により価値観が異なる</u>	<u>他方、国により価値観が異なる</u>		久保田委員	修正済み	20	15-16
34	18	24-25	<u>既存のネットワークを活用し</u>	<u>既存のネットワークをさらに活用し</u>		久保田委員	修正済み	20	27
35	19	5-6	<u>沖縄の財産であり、平和や経済等の</u>	<u>沖縄独自の財産であり、その活用は平和や経済等の</u>		久保田委員	修正済み	21	7
36	19	9-11	これらに加え、JICA事業により海外から沖縄に来た研修員や、沖縄から開発途上国へ派遣された海外協力隊員等の現地での交流によるネットワークの構築も、 <u>沖縄が今後各国・地域との関係づくりに役立てることが出来る重要なツールである。</u>	これらに加え、JICA事業により海外から沖縄に来た研修員や、沖縄から開発途上国へ派遣された海外協力隊員等の現地での交流によるネットワークの構築強化も、 <u>これまでの協力関係を再定義し、今後の各国・地域との関係づくりに役立てることが出来る重要なツールであり、積極的に活用すべきである。</u>		久保田委員	修正済み	21	10-13
37	19	11	出来る重要なツールである。	出来る重要なツールである。 <u>その他、留学、ビジネス、学術交流、文化交流などを通して培われてきた現在の沖縄在住外国人や沖縄在住を経験した外国人による人的ネットワークもその強みの一つとなる。</u>	沖縄に在住している（していた）外国人ネットワークも重要だと思います。最後に以下の段落を追加するのはいかがでしょうか。	小松委員	修正済み	21	13-15
38	22	9	<u>地方自治体の地域外交は、国家外交でも民間外交でもない独自の役割</u>	<u>地方自治体の地域外交は、国家外交や民間外交とも異なる独自の役割</u>		久保田委員	修正済み	24	9
39	22	11	<u>保健・医療、環境等、様々な国際協力・貢献</u>	<u>保健・医療、環境等、様々な分野での国際協力・貢献</u>		倉科委員	修正済み	24	11
40	22	32	<u>アメリカやアジア諸国・地域</u>	<u>アメリカやアジア諸国・地域等</u>	より正確な表現にしました。	小松委員	修正済み	24	22-23
41	23	11-13	<u>沖縄の重要な産業観光と平和をつなぐ「ピース・ツーリズム」という取組があり、広島市が積極的に展開している。悲惨な沖縄戦を経験した沖縄もこのピース・ツーリズムの概念に合致することから、発展可能性は高いといえる。</u>	<u>また沖縄の重要な産業である観光と平和をつなぐ「ピース・ツーリズム」においては、積極的に展開している広島市の取組みを参考に、今後、悲惨な沖縄戦の経験を持つ沖縄としても推進を検討すべきであろう。</u>		久保田委員	修正済み	25	11-13
42	23	16	<u>SNS</u>	<u>SNS</u>	半角へ	小松委員	修正済み	25	16
43	23	21-23	また、沖縄のファンとなった外国人からの情報発信を促進する観点で、 <u>外国人観光客、留学生、就業者などの県内に滞在する外国人との関係づくりに関しても、地域外交の分野別戦略において位置づけるべきと思われる。</u>	また、沖縄のファンとなった外国人からの情報発信を促進する観点で、 <u>外国人観光客のみならず、留学生や就業者などの県内に滞在する外国人との関係づくりに関しても、地域外交の分野別戦略において位置づけるべきと思われる。</u>		久保田委員	修正済み	25	21-22

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
44	23	24-28	沖縄の歴史や現在の強みや可能性等を世界中の国・地域に認知してもらうことによって、沖縄に困難な状況が押し寄せた場合などに海外においても「あの沖縄だ」として支援する国際世論が広がることを期待される。このような観点も含めて地域外交の成果として考えると、沖縄県民が安心・安全に生活できる環境、即ち沖縄の安全保障環境としても大きな改善に繋がるものと考えられる。	沖縄の歴史や現在の魅力や強みや可能性等を世界中の国・地域に、沖縄ファンを通して認知してもらうことによって、沖縄に困難な状況が押し寄せた場合などに海外においても「あの沖縄だ」として支援する国際世論が広がることを期待される。このような幅広い観点も含めて地域外交をとらえると、その成果として、沖縄県民が安心・安全に生活できる環境、即ち沖縄の安全保障環境の改善にも繋がるものと考えられる。		久保田委員	修正済み	25	24-29
45	23	32	エ 地域の課題と紐付いた国際協力・交流事業	エ 地域の課題に向き合う国際協力・交流事業	表現の修正	官澤委員	修正済み	25	32
46	23	34-35	課題と関連した事業を実施することが効果的であり、戦略的に取り組む必要がある。	課題と関連した事業を戦略的に選定・実施することが効果的である。		久保田委員	修正済み	25	34
47	23	36	観光が基幹産業であり、コロナ禍の	観光が基幹産業である国が多く、コロナ禍の		久保田委員	修正済み	25	35
48	23	40	加えて、 <u>発展途上国における経済開発や農業支援に対する協力も</u>	加えて、 <u>開発途上国における経済・社会開発（や農業支援）に対する協力も</u>	ここはなぜ農業だけが記載されているのか疑問です。大きな意味がなければ削ったほうがよいと思います。	倉科委員	【事務局案】 加えて、開発途上国における経済・社会開発に対する協力も	25	39
49	23	41	JICAや国際開発NGO	JICAや国際協力NGO	国際開発NGOとは言わないと思います。	倉科委員	修正済み	25	40
50	23-24	43-1	沖縄県平和祈念資料館および沖縄県立博物館・美術館	沖縄県、県立平和祈念資料館および県立博物館・美術館	前回修正したとおり、沖縄県が主体（提案団体なので県は入れて欲しいです。）	倉科委員	【事務局案】 沖縄県、県立平和祈念資料館及び県立博物館・美術館	25	42～43
51	24	11	②沖縄県がターゲットとする地域等	②沖縄県の地域外交が対象とする国・地域等	表現の修正	官澤委員	修正済み	26	10
52	24	30	前述の他、		削除	官澤委員	修正済み	26	29
53	24	30	前述の他、 <u>戦略的に国レベルでプライオリティーをつけ、MOUの締結や</u>	前述の他、 <u>自治体交流においては、MOUの締結や</u>		久保田委員	修正済み	26	29
54	24	33	観点も <u>ありうる</u> との意見もあった。	観点も重要であり、対象国については沖縄の課題をふまえながら戦略的かつ柔軟に選定すべき、との意見もあった。		久保田委員	修正済み	26	31～32
55	25				両端揃え	小松委員	最終チェックを行う予定	27	
56	25	5, 6	国際貢献・協力によって	国際協力・貢献によって	表現の修正	官澤委員	修正済み	27	5～6
57	25	14	創り出すことも考える。	創り出すことも考えられる。		久保田委員	修正済み	27	14
58	25	19, 20	国ではなく地方自治体が <u>全面</u> に出る方が効果的に魅力を発信できるとの意見	国ではなく地方自治体が <u>前面</u> に出る方が効果的に魅力を発信できる場合もあるとの意見や、	表現の修正	官澤委員	修正済み	27	20～21
59	25	25	ローカルとグローバル両方を兼ね備え、	ローカルとグローバルの両方を兼ね備え		小松委員	修正済み	27	26
60	26	3	1. アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する平和協力外交拠点	1.アジア・太平洋地域の平和構築に資する国際平和創造拠点	26頁3行目の【地域外交による目指す姿】の「1. アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する平和協力外交拠点」を「アジア・太平洋地域の平和構築に資する国際平和創造拠点」としてはいかがですか。	高山委員	修正済み	28	4
61	27	4	将来の姿：③、⑤	将来の姿：③、⑤、⑥	国際協力活動は平和な世界の発展のために行われているものであり、沖縄の平和構築の経験が世界の平和構築にも生かされていることから、⑥もここにに入れてはどうかと思います。	倉科委員	修正済み	29	4
62	27	14	かつての中国との歴史的関係性を活かすことにより、中国や華僑のネットワークを通じてアジアのダイナミズムにつながる。	例：周辺諸国・地域とのかつての歴史的関係性や、それらのネットワークを活かすことは、アジアのダイナミズムを取り込むことにもつながる。	分かりづらいことと、日本、中国、東南アジアの架け橋であったならば、中国・華僑にのみフォーカスするのは違和感を感じます。	井瀧委員	「沖縄21世紀ビジョン」の記述を基本的には引用しており、ご意見の修正ではその主旨が変わることから、原案のとおりとする。	29	15

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
63	28	2	あるべき姿（ビジョン）を中心に据え、	目指す姿（ビジョン）を中心に据え、	表現の修正	官澤委員	修正済み	30	4
64	29	10-13	また、各国・地域との信頼を醸成することには、経済だけでなく安全保障上も重要であり、 <u>沖縄がどういう場所かを世界中の人に知ってもらうことや、片務的ではなく共創の関係を構築すること、さらに時々の政権の政治スタンスにかかわらず、一貫性のある持続的な取組とすることが重要である。</u>	また、各国・地域との信頼を醸成することは、経済だけでなく安全保障上も重要である。 <u>沖縄についての情報発信や、片務的ではない共創の関係を構築すること、さらに時々の政権の政治スタンスにかかわらず一貫性のある持続的な取組を行うことが、各国との信頼関係の鍵となる。</u>		久保田委員	【事務局案】 また、各国・地域との信頼を醸成することは、経済だけでなく安全保障上も重要である。 <u>沖縄についての情報発信や、片務的ではない共創の関係を構築すること、さらに時々の政権の政治スタンスにかかわらず一貫性のある持続的な取組を行うことが、各国・地域との信頼関係の鍵となる。</u>	31	10
65	29	17-18	組織を構築し、沖縄県がその事務局となることで多面的な活動を展開	組織を構築もしくは参加、沖縄県がその事務局となることなどを通じて多面的な活動を展開		久保田委員	修正済み	31	17
66	29	19-20	スピード感をもって活動できることは重要である。	スピード感をもって活動することは重要である。		久保田委員	修正済み	31	19
67	29	25	橋頭堡（結節点）	結節点	29頁25行目に橋頭堡（結節点）とありますが、「結節点」が多く使われてきているので、「結節点」に統一して「橋頭堡」は使用削除してはいいかと思います。	高山委員	「橋頭堡」については、富川委員から強い記載要望があったことを踏まえ、委員からのご意見を可能な限り反映させる観点で記載しています。 当該記載を残すか否かについては、第4回会議でご議論いただきたいと考えます。	19 31	18 25
68	29	30	MOU	MOU	半角へ	小松委員	修正済み	31	30
69	29	30	MOUやトップ外交を推進する中で、	MOUやトップ外交を推進する場合、		久保田委員	修正済み	31	30
70	29	31-32	生み出していくには、分野別に沖縄の強みや、強化が必要とされる弱みを意識することが重要になってくる	生み出していくには、 <u>前提として分野別に沖縄の強みや、強化が必要とされる弱みを意識し、方向性を決定することが重要になってくる</u>		久保田委員	修正済み	31	31～ 32
71	29	32	重要になってくる	重要になってくる。	「o」の挿入	小松委員	修正済み	31	32
72	30	3	発展させてきた、	発展させてきた。	修正	倉科委員	修正済み	32	4
73	30	4	貢献でき、	貢献できるものであり、	表現の修正	倉科委員	修正済み	32	5
74	30	14	NGO	NGO	半角へ	小松委員	【事務局案】 半角にした上で「NGO・NPO」に修正	32	15
75	31	6	いわゆる		削除	官澤委員	修正済み	33	6
76	31	27	ハマス等武装勢力	ハマス等との	削除	官澤委員	第1回目の照会で、小松委員から「ハマス等武装勢力」とする意見があったので、そのまま記述を残しています。	33	27
77	31	27	ハマス等武装勢力	ハマス		君島委員	第1回目の照会で、小松委員から「ハマス等武装勢力」とする意見があったので、そのまま記述を残しています。	33	27
78	32	25-29	一方、日米両政府等が推進する「自由で開かれたインド太平洋構想（FOIP）」は、本来は経済面を含む概念ではあるが、 <u>実際には軍事面の連携の意図が印象付けられる枠組みとなっている。</u> これらのことから沖縄県がこれを採用する場合は、 <u>ここで述べた実際上の課題や基本計画との整合性などを総合的に検討する必要がある。</u>	これは、日本が提唱する「自由で開かれたインド太平洋構想（FOIP）」の対象とする地域とも重なる。 <u>上記をふまえ対象地域については、ここで述べた実際上の課題や基本計画との整合性などを総合的に検討する必要がある。</u>		久保田委員	修正済み	34	29～ 32

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

たたき台案			集約版				提言(案)		
整理番号	頁番号	行番号	たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	頁番号	行番号
79	32	31	台湾	台北	都市名で揃えました。	小松委員	修正済み	34	34
80	32	32~36	重点的に地域外交を進める地域として位置づけるとともに、世界の県系人（ウチナーンチュ）が活躍する北米・南米地域についても対象地域として念頭に置き、パラオ等太平洋島しょ国その他の国・地域については、個別の案件ごとに地域外交の対象となり得るか判断するとの考え方が示されており、この県の考え方について検証する。	重点的に地域外交を進める地域として位置づけている。世界の県系人（ウチナーンチュ）が活躍する北米・南米地域についても対象地域として念頭に置かれている。パラオ等太平洋島しょ国その他の国・地域については、個別の案件ごとに地域外交の対象となり得るか判断するとの考え方が示されている。このような県の考え方について、以下検証する。	本段落について読みやすさを考慮して幾つかの文章に区切りました。意図されている文意が変わっていないかご確認ください。	小松委員	修正済み	34	35~39
81	33	8	沖縄の特性を生かせる相手方として	沖縄の特性を活かせる相手	表現の修正及び削除	官澤委員	修正済み	35	11
82	33	11~13	南米県系人等との可能性調査など、県及び県内機関等でこのような取組が広がっており、調査結果を踏まえて考え方を示すことが望まれる。	南米県系人等との連携可能性調査など、県及び県内機関等で様々な取組が広がっており、それら取組をさらに展開していくことが必要である。	前半はウチナーネットワークの活用の話であり、調査結果を踏まえて考えを示す、という結びはおかしいと思います。可能であれば、修正した表現に変えたいです。	倉科委員	修正済み	35	15~16
83	33	12	このような		削除	官澤委員	修正済み	35	15
84	33	22、23	自らの選択肢を縛るリスクがある	自らの選択肢を縛り、普遍性を謳う理念とのずれが生じるリスクがある	追記	官澤委員	修正済み	35	25
85	33	28	相手方	相手	表現の修正	官澤委員	修正済み	35	32
86	33	35	「ゆいまーる」「ちむぐる」	「ユイマール」「チムグル」	表現の修正	官澤委員	修正済み	35	39
87	33	43	入れていくべきである。	入れていくべきである。これらの交流においては、テーマの選定、効果の測定、アウトプットの発表の場の設定等、戦略的に実施することが大きな効果を生む。		久保田委員	修正済み	36	3~4
88	34	5	「卒業生・同窓生」	(卒業生・同窓生)		小松委員	修正済み	36	10
89	34	10	考えられることから、双方が	考えられる。双方が	「ことから」の繰り返し回避	小松委員	修正済み	36	15
90	34	22	NGO間等、色々な	NGO間等、様々な	表現の修正	官澤委員	修正済み	36	27
91	34	24	企業やNGO等の	企業やNGO、大学、市民等	少なくとも大学は入れておくべきでは	倉科委員	修正済み	36	30
92	34	31	沖縄の若者が関わることのできる取組等	沖縄の若者が関わることのできる制度を含む取組等		久保田委員	修正済み	36	37
93	34	34	「めざす姿」	「目指す姿」	記載の修正	官澤委員	修正済み	36	40
94	36	4	海外の中央政府の首脳会議	各国の首脳会議	表現の修正	官澤委員	修正済み	38	10
95	36	5	1つのアイデアとして		削除	官澤委員	修正済み		
96	36	29	生かす	活かす	誤字	官澤委員	修正済み	39	7
97	37	11~12	沖縄経済のファンを作り		沖縄経済のファン、という言葉はおかしくないでしょうか？（沖縄のファン？）	倉科委員	記載が誤っていましたが、以下の案で修正しています。 【事務局案】 沖縄経済の発展可能性や沖縄の観光地としての魅力を国内外に積極的に発信することにより、沖縄への投資やビジネス展開、沖縄への観光旅行等に関心を持つ層を拡大させるとともに、県内民間企業による輸出促進や海外展開を後押しする等の取組を展開することが重要である。	39	18

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
98	37	14	主体とる	主体となる	誤字	倉科委員	【事務局案】 具体的には、県だけでなく自治体、企業、 NGO・NPO、市民など様々な主体が地域外交 を展開することにより、	39	23
99	37	22	留学生 や外国人就業者の取り込みに対する県の考え方 にも触れておく必要があるとともに		留学生や外国人就業者の取り込みに対する県の考え方、 についてはこの先どこでも触れられていないように思われます。 どちらかというと「留学生や外国人就業者の取り込みにも積極的 に取り組んでいく必要がある」というような言い方に変えたほう がよいのではないのでしょうか。	倉科委員	委員ご提案の「留学生や外国人就業者の取り 込みにも積極的に取り組んでいく必要がある」 に修正	39	32
100	37	23-24	県の考え方にも触れておく必要があるとともに、沖縄 の重要な産業となる観光産業については、	県の考え方にも整理する必要があるとともに、沖縄の重要な産業である 観光産業については、		久保田委員	修正済み	39	33
101	37	29~31	世界の島しょ国・地域等との連携・協力の推進など、 本県と類似する地域特性を有する島しょ国・地域等との 共生に	世界の島しょ国・地域等との連携・協力の推進など、本県と類似する 地域特性を有する島しょ国・地域等との共生に	島しょ国・地域に限定しすぎないほうがよいのではないかと考え ます。	倉科委員	修正済み	39	39
102	37	35	JICA	JICA	半角スペース削除	小松委員	修正済み	40	4
103	38	6	沖縄県及び県立平和祈念資料館との連携・協力	沖縄県及び県立平和祈念資料館、 <u>県立博物館・美術館</u> との連携・ 協力	追記	倉科委員	修正済み	40	14
104	38	9-10	また、JICA沖縄で研修を受ける海外からの研修員は開 発途上国の官公庁の方が中心であり、帰国して数年 後、官公庁の要職に就かれる方も多い。	また、JICA沖縄で研修を受ける海外からの研修員は開発途上国の官公 庁職員が中心であり、帰国して数年後、官公庁の要職に就くことも多 い。		小松委員	修正済み	40	18
105	39	13	NPO_	NPO	半角スペース削除	小松委員	半角スペース削除し「NGO・NPO」と修正	40	22
106	39	24	SDGs_	SDGs	半角スペース削除	小松委員	修正済み	40	36
107	39	脚注45	地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに 異なる資源が循環する自立・分散 型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じ て近隣地域等と共生・対流し、より 広域的なネットワーク（自然的つながり（森・里・ 川・海の連関）や経済的つながり （人、資金等））を構築していくことで、新たなバ リューチェーンを生み出し、地域資源 を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かすとい う考え方のこと。	地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環 する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じ て近隣地域等と共生・対流し、より広域的なネットワーク（自然的 つながり（森・里・川・海の連関）や経済的つながり（人、資金 等））を構築していくことで、新たなバリューチェーンを生み出し、 地域資源を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かすとい う考え方のこと。	余分な改行の削除	小松委員	修正済み	42	注釈
108	40	1	意義ある取組と考える。	意義ある取組である積極的に発信すべき事例であると考え		久保田委員	修正済み	42	6
109	40	7	「国際協力・貢献」「分野共通」	「国際協力・貢献」「人材育成」「分野共通」	追記	官澤委員	修正済み	42	12
110	40	37	ASEAN_	ASEAN	半角スペース削除	小松委員	修正済み	43	7
111	40	38	議論する場を設定する。これら諸国	議論する場を設定する。実施の際は、対話の成果発表の場やフォロー アップについても包括的に計画する。これら諸国		久保田委員	修正済み	43	8
112	42	9	非常に重要なこの日を核として、	非常に重要なこの日を中心にして、		官澤委員	修正済み	44	21
113	42	15	発信していくことも重要である。	発信していくことも重要である。「オキナワ平和プロセス」とは、沖 縄戦の経験・教訓を思想化・普遍化していくプロセスであるといえよ う。	追記	君島委員	修正済み	44	28

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
114	42	34	グローバルサウス		ここにはグローバルサウスを残しますか？その前のアジア太平洋（諸国）地域はグローバルサウスに含まれます。ここで対象の地域を限定する必要はないのではないのでしょうか。	倉科委員	グローバルサウスの記述を削除	45	6
115	44	35	企業9社	企業8社	誤り	倉科委員	修正済み	47	19
116	45	3	従来の交流とビジネス	従来の交流にビジネス	表現の修正	倉科委員	修正済み	47	27
117	42	4,5,9,23	6月23日	6月23日	「23」を半角へ	小松委員	修正済み	44	17.18. 23.38
118	43	36-37	基地負担軽減に向けた具体的なアクションとして打ち出すことができる。	（期待できる効果）海外の地方自治体と連携・共創することを通して、「環東シナ海圏」という公共空間の認知とそのアイデンティティの確立により、係争を乗り越え、相互の対話と信頼に基づく東シナ海の秩序の安定が期待される。 そして米軍基地に起因する課題について沖縄県のみならず国内外の地方政府と共同で対応することにより、国際世論の喚起し交渉力を高めることで、問題の解決へいたることが期待される。	他の項目と揃えるため、以下を追加するのはいかがでしょうか。	小松委員	修正済み	46	15～ 20
119	45	32	台湾	台北	都市名で揃えました。	小松委員	修正済み	48	14
120	45	40以降	なお、海外事務所の機能強化を図る場合には、アジアの海外事務所は沖縄県産業振興公社の海外事務所を兼ねていることから同公社の所掌業務等の整合を図る必要があること、現地の活動内容等に関する所在国・地域の許認可等を受けなければならない場合があり、この場合、許認可を受けた活動内容との整合を図る必要があること等について、十分に留意する必要がある。	例：なお、海外事務所の機能強化を図る場合には、事務所のステータスや活動範囲を十分に留意する必要がある。	現地での登記上は、沖縄県●●事務所とはなっていないのではありません（中国であれば沖縄県産業振興公社●●代表処）。そのような話をすると細かくなりすぎるため文章を簡略化しました。	井瀧委員	修正済み	48	22
121	46-49		51～53頁全体的に	下記の主旨の文言を51頁～53頁あたりに追記 「国際協力活動においては、沖縄県が率先して近隣諸国における人権や平等のグローバルな課題に取り組む市民レベルの国際活動を促進していく。」 「多文化共生においては、外国人移民労働者への支援、難民・避難民の受入れ、海外との交流、地域課題への取組をする。難民・避難民については、NGO・大学・企業が連携することで、様々なセクターが協力しあうことにより、人権・平和の促進と、難民・避難民の雇用機会を企業がつくることにより、経済発展の創出などウィンウィンの関係を築いていく。」 「グローバル課題に取り組む若者の人材育成については、NGO・NPOなどの市民活動に大学・学校と連携し、沖縄の若者が関われるような取り組みを促進していく。」	51～53頁のプロジェクトにNGO/NPOが関われる要素について全体的にほとんど書かれていないので、各項目に入れるかたちで追記いただきたいです	水澤委員	委員の意見の趣旨を踏まえ、新たに項目を立てて記載 【事務局案】 (2) NGO・NPOと連携した国際協力活動の促進 国際協力活動においては、沖縄県が率先して近隣諸国における人権や平等のグローバルな課題に取り組む市民レベルの国際活動を促進していくことが重要である。 また、多文化共生の分野において、NGO・NPOは外国人移民労働者への支援、難民・避難民の受入れ、海外との交流、地域課題解決に向けた取組等を行っている。 これらの取組については、NGO・NPOと大学、企業等の様々なセクターが連携・協力することにより、人権・平和の促進に加え、難民・避難民の雇用機会の創出を経済発展に繋げるなど、NGO・NPOと様々なセクターがウィンウィンの関係を築いていくことが望ましい。	50	9～19
122	46	33	研修生	研修員	文言の修正	倉科委員	修正済み	49	13-16

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
123	46	33	研修生	研修員		小松委員	修正済み	49	13-16
124	46	36	JICA研修生経験者	JICA研修経験者	削除	倉科委員	修正済み	49	16
125	46	36	研修生	研修員		小松委員	修正済み	49	15
126	47	31~32	沖縄から国際的な		削除	倉科委員	修正済み	50	25
127	47	31~33	人材の育成・確保である。沖縄から国際的な直近又は短期的には、沖縄県職員の育成等に取り組みつつ、中長期的な観点では学生等若年者に対し、国際人材として羽ばたくための	人材の育成・確保である。短期的には、 <u>県庁職員、市町村職員</u> の育成等に取り組みつつ、中長期的には、 <u>学生等若年層</u> に対し、国際人材として育成し、 <u>将来、沖縄県への貢献の意識を高めるための</u>	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	50	25-28
128	47	33、35	国際人材として羽ばたくための各種教育プログラムの提供等に精力的に取り組む必要がある。 また、育成した <u>国際人材</u> が能力を		一般的にはグローバル人材という言い方をします。この後にグローバル人材という言葉もでてきますのでそちらに統一することが望ましいと考えます。	倉科委員	修正済み（4か所）	50	25-28
129	47	4 0	若年者向けの	若年層向けの	表現の修正	官澤委員	修正済み	50	34
130	47	4 2	ア 学生等、若年者を対象とした人材育成等	ア 若年層を対象とした人材育成等		官澤委員	修正済み	50	36
131	48	3~8	始めに、現在、県が実施している高校生、大学生等を対象とした人材育成プログラムの拡充や、 <u>交流相手国の学生等を沖縄に招聘し、沖縄の理解を促がす等の取組</u> が考えられる。 既存の取組の拡充に当たっては、 <u>日本国内で最多を</u> 目指して沖縄からの海外への留学及び海外留学生の沖縄への受入れ拡大する等、高い目標をもって、積極的な姿勢で取り組むことが必要である。	まず、現在、県が実施している高校生、大学生等を対象とした人材育成プログラムの拡充が考えられる。既存の取組の拡充に当たっては、 <u>沖縄からの留学者数及び海外留学生の沖縄への受入れ者数を日本国内で最多にする等の高い目標をもって、積極的な姿勢で取り組んでいた</u> いただきたい。 また、国際理解教育としてオンラインによる交流事業を実施すること、海外又は国内の大学の国際関係学部を沖縄に誘致すること、 <u>県立高校に先進的な「国際関係科」を設置すること</u> （すでに国際科はあるが）などにより、県内にいてもグローバル経験が可能となるような環境づくりにも取り組む必要がある。 なお、国際理解教育、国際人材の育成には、教員の海外派遣等による経験が非常に有効であることから、教員のJICA海外協力隊への積極的な参加促進や海外協力隊経験者の教員採用を進めることも効果的である。		官澤委員	修正済み	50	39
132	48	9~15	また、国際理解教育としてオンラインによる交流事業を実施することや、 <u>海外又は国内の大学の国際関係学部を沖縄に誘致する</u> などにより、県内にいてもグローバル体験が可能となるような環境づくりにも取り組む必要がある。 <u>特に国際理解教育、グローバル人材の育成には、教員の海外派遣等による経験が非常に有効であることから、教員のJICA海外協力隊への積極的な参加促進や海外協力隊経験者の教員採用を進めることで国際理解教育やグローバル人材育成に繋がると考えられる。</u>	また、国際理解教育としてオンラインによる交流事業を実施すること、海外又は国内の大学の国際関係学部を沖縄に誘致すること、 <u>県立高校に先進的な「国際関係科」を設置すること</u> （すでに国際科はあるが）などにより、県内にいてもグローバル経験が可能となるような環境づくりにも取り組む必要がある。 なお、国際理解教育、国際人材の育成には、教員の海外派遣等による経験が非常に有効であることから、教員のJICA海外協力隊への積極的な参加促進や海外協力隊経験者の教員採用を進めることも効果的である。	表現の修正	官澤委員	修正済み	50	2
133	48	12	特に国際理解教育、グローバル人材の育成には	特に国際理解教育、グローバル人材の育成の観点では	表現の修正	倉科委員	修正済み	51	7
134	48	12	グローバル人材の育成には、教員の	グローバル人材の育成には、 <u>小学校、中学校、高校</u> の教員の		久保田委員	修正済み	51	7

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

たたき台案			集約版				提言(案)		
整理番号	頁番号	行番号	たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	頁番号	行番号
135	48	15~18	沖縄県立高校に先端的な「国際関係科」を設置して（すでに国際科はあるが）、そこで高校教育の段階から将来の沖縄県を支えるグローバル人材育成に取り組むことも検討していただきたい。		削除	官澤委員	修正済み	51	3
136	48	21~25	学生への支援に加えて、国家公務員や国際機関職員への就職を希望する人材について、国関係省庁や国内国際機関へのインターン制度の活用、各国政府の費用負担で国連をはじめとする国際機関が若手人材を受け入れるJPO派遣制度を活用すること等について検討し、可能なものが実施する必要がある。	国家公務員や国際機関職員への就職を希望する県内の有望な若手人材について、国関係省庁や国内国際機関へのインターン制度、各国政府の費用負担で国連をはじめとする国際機関が若手人材を受け入れるJPO派遣制度などの周知や、活用奨励に取り組み、県独自の支援策についても検討する必要がある。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	51	16
137	48	28~31	県内企業等の職員等についても、沖縄から世界に視野を広げ、自社の強みを活かしたビジネスチャンスや国際協力・国際貢献等にチャレンジする機会を提供すべきである。例えば、海外の日本企業等に協力を求め、現地企業等への短期研修派遣などを実施することが考えられる。	県内企業職員等についても、沖縄から世界に視野を広げ、自社の強みを活かしたビジネスチャンスや国際協力・国際貢献等にチャレンジする機会が増えることが望ましい。例えば、海外の日本企業等に協力を求め、現地企業等への短期研修派遣などを実施することが考えられる。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	51	23
138	48	36~39	若手の職員のうち、国際的な仕事を行う人材について、国際専門職として認定し、職名としても設定することや、給与・手当面の優遇、配属先の考慮等の対応を行うことにより、職員のモチベーションの向上と人材の円滑な確保等にげていく必要がある。	国際的業務を行う能力、意識が高いと認められた職員に対して、国際専門職として認定し、給与・手当面の優遇、配属先の考慮等の対応を行うことにより、職員のモチベーションの向上と人材の円滑な確保が期待される。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	51	31
139	48	39	確保等にげていく必要がある。	確保等にげていく必要がある。また国際会議や研修への参加や海外事業の実施等においても、積極的に若手職員を活用し、機会を与えるべきである。		久保田委員	【事務局案】 確保等につなげていく必要がある。また国際会議や研修への参加や海外事業の実施等においても、積極的に若手職員を活用し、機会を与えるべきである。 加えて、外務省の	51	34
140	48	42	JICA海外協力隊や途上国向け研修への参加や、	JICA海外協力隊、沖縄で実施する途上国向け研修への参加や沖縄県が連携を期待する地域のJICA海外事務所への県職員の出向、	沖縄県が事務所を持たないけれども連携を促進したい地域のJICA事務所に県職員を出向させ、地域での人脈づくり、地域事務所設立の準備などを行うことも考えられるのではと思い追加させていただきました。	倉科委員	修正済み	51	38
141	49~50				各段落の左端を揃えました	小松委員	最終チェックを行う予定		
142	49	1	国との連携を図る観点でも重要と考える。	国との連携を図る観点でも重要と考える。 他にも、諸外国の若手公務員との交流などの機会を設けることも、若手職員の国際感覚を磨く上で有用である。	追記	官澤委員	修正済み	51	42
143	49	4~9	地域外交の基礎となる国際人材の育成は、地域外交の担い手（プレーヤー）が質・量とも拡充される直接的な効果のほか、県単独の取組にとどまらず、様々な国・地域や国内外の関係機関との連携・協力を図ることによって、相手方の国・地域等が沖縄に対する理解を深め、持続的な信頼関係構築に資する効果が期待できる。	地域外交の基礎となる国際人材の育成は、地域外交の担い手が質・量とも拡充される直接的な効果のほか、人材交流を通じて、相手国・地域の学生・関係者等の沖縄に対する理解も深まるので、持続的な信頼関係構築に資する効果が期待できる。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	52	3

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

たたき台案			集約版				提言(案)		
整理番号	頁番号	行番号	たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	頁番号	行番号
144	49	16~19	沖縄県は地域外交基本方針策定する。基本方針を策定するからには、これを国内外、 <u>世界に対し広く発信し、沖縄の地域外交の理念、ビジョン等をしっかりとアピールし、沖縄のソフトパワーのプレゼンスを向上させることを重要である。</u>	沖縄県は地域外交基本方針を策定する。 <u>この機会に、策定した基本方針を国内外に広く発信し、沖縄の地域外交の理念、ビジョン等をしっかりとアピールし、沖縄のプレゼンスを向上させることが重要である。</u>	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	52	14
145	49	24~28	沖縄の地域外交を国際社会にアピールする上で、最も効果が高い取り組みの一つとして、国際会議の開催（誘致）があげられる。国家元首クラスのハイレベル会議は <u>すぐに実現しないと</u> しても、 <u>事務レベル会議や地方自治体を中心となる会議については、沖縄が有する国内外の関係者とのネットワークを活用することで十分に実施可能と考える。</u>	沖縄の地域外交を国際社会にアピールする上で、最も効果が高い取り組みの一つとして、国際会議の開催があげられる。国家間の元首クラスを含めたハイレベル会議、事務レベル会議、また、地方自治体を中心となる会議などの積極的な誘致が必要である。	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	52	21
146	49	29	内容（テーマ）が重要	内容（テーマ） <u>および成果が重要</u>		久保田委員	修正済み	52	25
147	49	36~38	既存の国際機関のアジア事務所等は、国内においては <u>東京、横浜</u> に集中しているが、福岡市の国連人間居住計画（UN-HABITAT）地域事務局、神戸市の国連防災計画（UNCRD） <u>地域事務局</u> など、地方に事務局を設置している場合もあることから、	既存の国際機関のアジア事務所等は、国内においては <u>首都圏</u> に集中しているが、福岡市の国連人間居住計画（UN-HABITAT）地域事務局、神戸市の国連防災機関（UNDRR） <u>駐日事務所</u> など、地方に事務局を設置している場合もあることから、	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	52	32
148	50	1	沖縄は国際社会全体から見た存在感は	国際社会全体から見た <u>沖縄の</u> 存在感は		小松委員	修正済み	52	39
149	50	7~11	また、例えば京都議定書の後に広く使われた「Do you Kyoto?」（環境のために何かいいことしてる？）のように、例えば「Do you Okinawa?」（平和や国際交流のために何かいいことしてる？）などのキーワードが世界に広く使われるような仕掛けを行うことにより、世界に向けて幅広く市民レベルで沖縄の認知度を高める効果が期待できると考える。		削除	官澤委員	修正済み	53	5
150	50	33	沖縄平和賞の受賞要件等を工夫して、世界の平和に貢献した海外の人物、団体等に平和賞を授与して、大きく報道発表することにより沖縄の地域外交をアピールするなど、同賞の戦略的な活用も検討するべきである。	沖縄平和賞の対象を海外にも広げるのであれば、平和賞の主旨にかんがみて「東アジアの平和に貢献」など、沖縄県の地域外交戦略をもとにもう少し絞り込んで記載してはいかがか	世界の平和に貢献した海外の人物・団体ということであるとかなり広がってしまうので	水澤委員	委員のご意見を踏まえ、以下の案で修正 【事務局案】 沖縄平和賞は、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰するものであることから、同賞の意義を世界に向けて広く発信するとともに、地域の平和に貢献した・・・（以下同じ）	53	27
151	51~52			両端揃え		小松委員	最終チェックを行う予定		
152	51	9	台湾	台北	都市名で揃えました。	小松委員	修正済み	54	8

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
153	51	20以降	なお、海外事務所の機能強化を図る場合には、アジアの海外事務所は沖縄県産業振興公社の海外事務所を兼ねていることから同公社の所掌業務等の整合を図る必要があること、現地の活動内容等に関する所在国・地域の許認可等を受けなければならない場合があり、この場合、許認可を受けた活動内容との整合を図る必要があること等について、十分に留意する必要がある。	例：なお、海外事務所の機能強化を図る場合には、事務所のステータスや活動範囲を十分に留意する必要がある。	同上	井瀧委員	修正済み	54	19
154	51	26	----	<u>またグッドプラクティスの共有などをつうじた海外事務所間の横の連携の強化も、各事務所の能力強化に有効であろう。</u>	一段落分追加	久保田委員	修正済み	54	21
155	52	13	また、国内の自治体の中で沖縄の「仲間・味方」となってもらえる相手方を見出す貴重な機会しても意義があることと考える。	例：また、国内の自治体の中で沖縄と協調する相手方を見出す貴重な機会しても意義があることと考える。	特に「味方」という言葉は相対の「敵」が存在するような印象を持つため、表現を修正した方が良いと考えました。	井瀧委員	修正済み	55	10
156	52	15	など		これはなんでしょう？	倉科委員	不要な記載が残っていたので削除	55	12
157	53	6～8	沖縄県庁が地域外交を展開するにあたり、各部門が地域外交基本方針に沿って情報共有を図り取り組むため、 <u>地域外交課がヘッドとなって推進する体制を創ることが必要である。</u>	沖縄県庁が地域外交を展開するにあたり、各部門が地域外交基本方針に沿って推進する各種取組について、その情報共有を図り、 <u>全体を調整し取りまとめる司令塔の存在が必要である。</u> <u>この観点から、現在の地域外交室を、人的体制・予算を補強して、地域外交課に格上げし、その業務に県庁三役の強力なコミットメントがあることが適当と考える。</u>	表現の修正及び追記	官澤委員	修正済み	56	6
158	53	8	地域外交課は、総合的かつ効率的な地域外交を推進するため、県全体の地域外交を取り仕切る司令塔であり調整する役割を担う。また、海外との交渉役にもなる。 地域外交課が実践的な司令塔の役割を果たすためには、三役の強力なコミットメントが必要である。		削除	官澤委員	修正済み	56	10
159	53	10	司令塔であり調整する役割を担う。また、海外との交渉役にもなる。	司令塔であり調整する役割を担う。 <u>この役割を果たすため、県海外事務所の所管、国際協力・貢献事業の窓口機能を地域外交課に移管することも検討すべきと考える。</u> また、海外との交渉役にもなる。	調整だけではなく、県庁内で行われる関連事業を戦略的に連携させ、効果を拡大させる機能を持っていただきたいとします。その意味で、「・・・県全体の地域外交を取り仕切る司令塔であり、取り組みの成果拡大のため、関連事業の戦略的連携のための調整を行う役割を担う」というような書きぶりを提案します。  あわせ、ウの最後のパラグラフにコメントしたとおり、黄色マーカーの記載をこちらに入れていただくことを提案します。（その場合ウでの海外事務所所管の記載は削除）	倉科委員	修正済み	56	11
160	53	23	<u>検討した方がよい。</u>	<u>検討し、効率性および継続性を考慮すべきである。</u>		久保田委員	修正済み	56	23
161	53	25	<u>常設設置が必要と思われる。</u>	<u>常設も検討する。</u>		久保田委員	修正済み	56	26
162	53	28	指標を置くことも検討することが必要である。	指標を置くことも検討する必要がある。		小松委員	修正済み	56	29
163	53	29	指標をどんどん増やすことを前提とする	指標の上昇を想定し評価する		小松委員	修正済み	56	30

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
164	53	29	指標		この書き方であると、指標を増やす、というように読めてしまいます。また、指標の見方が一面的、という意味も分かりにくいのではないかと思います。 どんどん増やすことを前提とする指標では、成果がとらえにくい取り組みもある。例えば・・・というような書き方がよいのではないのでしょうか。	倉科委員	委員のご意見を踏まえ、以下の案で修正 【事務局案】 目標となる数値を設定し、この数値の上昇を想定し評価する指標では、成果が捉えにくい取組もある。例えば、・・・	56	30
165	53	29-33	指標をどんどん増やすことを前提とする考え方では指標の見方が一面的になりやすい。例えば、NGOの活動の一つはアウェアネス（＝社会の認識を変える）であり、そのような活動をとらえ、どう成果を出すことがいいのかを検討すると、数値が右肩上がりになることを前提とする指標では、後々持たなくなる可能性がある。	指標について右肩上がり前提とする考え方では指標の見方が一面的になりやすい。例えば、NGOの活動の目的の一つはアウェアネス（＝社会の認識を変える）であり、そのような活動の本質に着目し成果を検討すると、単純に数値が右肩上がりになることを前提とする指標では、その成果を正確には表せない。		久保田委員	委員のご意見の趣旨を踏まえつつ、小松委員、倉科委員の意見も考慮して修正しました。 「例えば」以降は委員意見の通り修正済み	56	30
166	53	31	どう成果を出すことがいいのか		この文章全体の意味がわかりにくいのですが、どう成果を出すのがいいか、ではなく、どう評価するのがいいのか、ということでしょうか？ 後々持たなくなる、も表現を変えたほうがよいと思います。（のちのち、評価ができなくなる？）	倉科委員	久保田委員の修正案のとおり修正済み	56	32
167	53	38～42	また、観光に関する経済指標に関しては、沖縄が持続可能な観光を目指す観点から、単純な収入総額の増加ではなく、一人当たりの滞在日数の長期化や消費額の増加など、沖縄が豊かになることを踏まえた指標を整備できるとよい。なお、観光収入は移入なので沖縄の自給率を高めるという観点からも観光収入は重要。	例：また、観光に関する経済指標のうち観光収入は、県外・国外から収入を得る機会であるため、自立型経済を確立するうえでも重要な指標と考える。一方で、沖縄が持続可能な観光を目指す観点から、単純な収入総額の増加だけでなく、一人当たりの滞在日数の長期化や消費額の増加など、沖縄が豊かになることを踏まえた指標を整備できるとよい。	「また」以降の文章と「なお」以降の文章は逆説的な内容であること、「なお」以降が分かりづらいこと、これまで体言止めの表現はしてこなかったと思うので修正した方がよいと思います。	井瀧委員	修正済み なお書き以下については、下記の倉科委員意見への対応と同じ	56	39
168	53	39	単純な収入総額の増加ではなく	単純な観光客数の増加ではなく		小松委員	修正済み	56	41
169	53	42	重要。	重要である。	追記	倉科委員	なお書き以下がやや分かりにくい文となっていましたので、以下の案に修正します。 【事務局案】 なお、県民経済計算上、観光収入は移入として扱われることから、沖縄の自給率を高め、県民所得を増加させるという観点からも重要な指標と考えられる。	57	2
170	53	42	重要。	重要である。		小松委員	上記の倉科委員意見への対応と同じ	57	2
171	54	1～2	マルチトラック		マルチトラック外交の発想から大学の研究者を入れることが必要、というロジックが理解できませんでした。マルチトラック外交とは関係なく必要なのではないのでしょうか？	倉科委員	多様な主体によるマルチトラック外交という視点で、県内の学生に加えて大学の教員や研究者による海外交流も含めるべきとの委員意見に対応した記述となっていますが、当該記述がない場合も主旨は大きく変わらないため、削除した案で提案します。	57	5

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

たたき台案			集約版				提言(案)		
整理番号	頁番号	行番号	たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	頁番号	行番号
172	54	15	海外		地域外交の大きな要素である国際協力・貢献事業の窓口を地域外交課に移すことも、提言書に記載してよいのであればいいと思います。この部分は海外事務所の強化ですが、海外事務所の所管の移管も含め、「ア」に記載いただくことを提案します。	倉科委員	委員のご意見を踏まえ、アに以下の案で修正します。なお、海外事務所の所管については、他委員から異なる意見がありますので、第4回会議でご議論いただきたいと考えます。 【事務局案】司令塔であり調整する役割を担う。この役割を果たすため、国際協力・貢献事業の窓口機能を地域外交課に移管することも検討すべきと考える。また、海外との交渉役にもなる。	56	11
173	54	15	また、地域外交課が沖縄県の地域外交の調整役として機能するためには、海外事務所の所管を他の部署から地域外交課に移管することも検討すべきと考える。	例：また、地域外交課が沖縄県の地域外交の調整役として機能するためには、海外事務所の活用は不可欠である。一方で事務所のステータスや現地政府から認可されている活動範囲に鑑み、所管部署との連携の在り方を検討すべきと考える。	(現地の登記上) アジアの事務所は沖縄県産業振興公社の海外事務所であることを意識すると、検討とは言え移管という言葉は強すぎると考えています。	井瀧委員	修正済み	57	17
174	54	6～9	海外事務所は、地域外交を進める上で重要な拠点である。海外事務所の機能・能力を強化するため、大使館の派遣員又は専門調査員に相当するポストを設け、各国・地域の調査、情報収集と、現地政府等との人的コネクションづくりに取り組むことが考えられる。	海外事務所は、各国・地域の調査、情報収集と、現地政府等との人的関係づくりなど、地域外交を進める上で重要な拠点である。したがって、既存の海外事務所の機能・能力を強化するために、各事務所に配属する県庁プロパー職員の定員数を増やすことが望まれるが、大使館の派遣員又は専門調査員に相当する期限付ポストを設けることも一案である。	表現の修正、追記、削除	官澤委員	修正済み	57	10
175	54	10～16	海外事務所を拡充するに当たっては、今後の経済的な伸びが見込まれているインド事務所の設置が期待される。また、グローバルサウスの地域の全てに県の海外事務所を設置することには予算制約があり厳しいが、常に目配せし情報収集を行うことが望ましい。海外事務所を増やすことも重要だが、1つ1つの能力を高めることも重要である。また、地域外交課が沖縄県の地域外交の調整役として機能するためには、海外事務所の所管を他の部署から地域外交課に移管することも検討すべきと考える。	また、戦略的に重要性が高まる国・地域への海外事務所の新設も検討すべきであり、例えば、インドなどが候補になるだろう。また、地域外交課が沖縄県の地域外交の調整役として機能するためには、海外事務所の所管を他の部署から地域外交課に移管することも検討すべきと考える。	表現の修正、追記、削除	官澤委員	修正済み	57	15
176	54	32	つながることで、必要である	つながり、必要である		小松委員	修正済み	57	35
177	54	36以降	② 人材育成 アとイ		②については削除	官澤委員	修正済み	57	39
178	55	1	また、地域外交は根回し、相手の気持ちを察し、交渉すること等が必要	また、地域外交は世界情勢を把握したうえで、人対人で交渉すること等が必要		久保田委員	上記の官澤委員意見への対応の通り、②人材育成を削除	57	39
179	55	10	人材育成を図る上で、やりがいを感じる仕事に従事する機会を提供する	人材育成を図る上で、若い職員が優先的にやりがいを感じる仕事に従事する機会を提供する		久保田委員	上記の官澤委員意見への対応の通り、②人材育成を削除	57	39

地域外交に関する万国津梁会議提言書【たたき台案】に対するご意見（2回目）と対応について

資料 1

集約版

整理 番号	たたき台案		たたき台案	修正案	ご意見等	委員名	対応	提言(案)	
	頁 番号	行 番号						頁 番号	行 番号
180	55	22	られる。	られる。 なお、学生等のグローバル人材の育成の観点では、教員の海外派遣による経験が非常に有効であることから、教員のJICA海外協力隊への積極的な参加促進や海外協力隊経験者の教員採用を進めることも重要である。	(追記) 入れてもよいのであれば入れてください。(オンライン交流事業より有効だと思います) ただし、入れるかの判断は事務局にお任せします。	倉科委員	主要プロジェクトに記述する形で修正します。	57	25
181	57		成蹊大学アジア太平洋センター	成蹊大学アジア太平洋研究センター		小松委員	修正済み	59	6